

平成20年3月14日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズ
代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
(コード 8732 大証ヘラクレス)
問合せ先 取締役経営企画室長 佐藤 直広
(TEL. 03-4540-3804)

取扱全通貨ペアの「スワップ・スプレッド」、1 pipへのナロー化のお知らせ

平素は格別のご愛顧を賜り誠に有難うございます。

当社は、当社をご愛顧頂いているお客様のおかげをもちまして、顧客口座数が45,731口座、預り証拠金が25,942百万円(平成20年2月末現在)となるなど、顧客基盤の拡大が進んでおります。

この状況を鑑み、お客様への還元策として、このたび当社で取り扱っている全通貨ペアのスワップポイント(注1)のスプレッド(スワップ・スプレッド)(注2)を1 pip(注3)へとナロー化することといたしましたのでお知らせいたします。

当社では、業界最高水準のスワップポイントをご提示できるよう、これまで米ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円、ニュージーランドドル/円の4通貨についてスワップ・スプレッドを1 pipでご提示してまいりましたが、昨日より、当社取り扱いの全10通貨ペアにおいて、スワップ・スプレッドを1 pipにてご提示しております。

スワップ・スプレッドがナロー化されることで、当社お客様におきましては、受取り時のスワップがこれまでより多くなったり、支払い時のスワップがこれまでより少なくなるという利点生まれ、またスワップポイントにとらわれない自由度の高い取引が可能になります。

今後も経営の効率化と経営基盤の安定化に邁進し、お客様にとってより良いサービスが提供できるよう努めてまいります。お客様におかれましては今後もマネーパートナーズを引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

※スワップ・スプレッドは、マーケットの状況により、やむをえず拡大する場合がございます。

(注1) スワップポイント：取引通貨間の金利差調整分

(注2) スワップ・スプレッド：売り・買いにおけるスワップポイント絶対値の差

(注3) 1 pip：各通貨における最小変動幅。円の場合は1円、米ドルの場合は1セント。

以 上

パートナーズ FX は、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料（電話取引の場合は 10 万通貨単位未満の取引では 1 通貨単位あたり片道 20 銭、10 万通貨単位以上の取引では 1 通貨単位あたり片道 10 銭）。取引に必要な証拠金は 1 万通貨単位あたり 1 万円（ハイレバレッジコースの場合 5 千円）から 5 万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約 50 倍（ハイレバレッジコースは約 100 倍）までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とは差額（スプレッド）があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ（金融商品取引業者）

〈登録番号〉関東財務局長（金商）第 297 号

〈加入協会〉社団法人 金融先物取引業協会（会員番号 1540）